

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
国語総合(現代文)	国際交流科	1	2	新探求国語総合 現代文・表現編(桐原書店)	予習復習ノート 現代文編

科目の到達目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
---------	---

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	表現 随想 「旅する力」 「ふしぎと人生」	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをする 筆者のものの見方や感じ方 筆者の体験例から、論の展開を知る 客観的な科学的究明の視点を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手に配慮した言葉遣いや態度、声の大きさを話す。 人生における体験の意味について考える。 「旅する力」は日常でどのように活用できるか考える。 「」書きの語句をわかりやすく言い換えることができる。 自己の日常生活を振り返る。 ふしぎを感じることのすばらしさを理解する。
	5	小説 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開をとらえる 登場人物の心理の読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構造・展開・主題の把握など小説を読む基本的な方法を学び、内容を理解する。 登場人物の生き方を通して、人間や人生についての考えを深め、自己の心情を豊かにする。
	6	表現	<ul style="list-style-type: none"> 小説のPR文を書く 構成を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感じたこと、伝えたいことを、適切な表現で述べる。
	7	詩 「サーカス」 「るるる葬送」	<ul style="list-style-type: none"> 詩に親しむ 詩人の個性を知る 詩の言葉の持つ意味 	<ul style="list-style-type: none"> 朗読により独特のリズムを味わう。 詩の主題をとらえ、解釈を深める。 言葉の持つ力を理解し、言語力やものの見方を深める。
二	9	評論 「サイボーグとクローン人間」	<ul style="list-style-type: none"> 論理的文章の習得 文章の論理や構成を理解 二項目の精密な比較 	<ul style="list-style-type: none"> サイボーグとクローン人間の違いについて理解する。 サイボーグとクローン人間のそれぞれの特徴を知る。 文明の変化について考える。
	10	小説 「海の方の子」 評論 「言葉の力」	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の人物像 主人公の心情の変化 言葉の効能について把握 比喩や段落相互の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の人物像と他者への意識を読み取り、「哲夫」との交流を通して主人公の心理の展開や自意識の変化を捉える。 言葉の本質について理解し、自然と言葉の関係を読み取る。
	11	評論 「宇宙樹」	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法の理解 筆者の観点を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木と環境の関係、および樹木内部の多様性を読み取る。 樹木と人間の生き方について考える。
	12	表現	<ul style="list-style-type: none"> 調べてレポートにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 調べた情報を簡潔に整理する。 構成を工夫しながら自分の考えを文章化する。
三	1	小説 「富獄百景」	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心理の変化の把握 主題に関する考察 表現の特徴の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と交流を通して変化していく「私」の心理を読み取る。
	2			
	3	表現	<ul style="list-style-type: none"> ディベートをする 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を収集し、考えをまとめ、反論を聞き論点をまとめる。

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点				
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	国語や言語文化に関する関心を深め、国語力の向上を図るとともに、すすんで表現したり、理解したり、伝えたりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法 「評価の5観点」に基づいた評価、授業中の発言や発表、週末課題の提出、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。					